

第Ⅲ部 政府関係者等との討論 資料

2012.11.12

登壇者プロフィール



中川 正春（衆議院議員、前内閣府特命担当大臣）

1973年米国ジョージタウン大学国際関係学科卒業後、国際交流基金に入職。1983年三重県議会議員初当選。以降三期12年務める。1996年に衆議院議員初当選。民主党次の内閣財務大臣として2009年8月の選挙におけるマニフェスト作成に尽力。09年9月、文部科学副大臣に就任。11年9月、文部科学大臣に就任。12年1月、民主党行政改革調査会会長を経て、12年2月、内閣府特命担当大臣(防災、「新しい公共」、少子化対策、男女共同参画、共生社会政策)に就任。現在、民主党災害対策調査会長、民主党財務委員長。



井上 洋（一般社団法人日本経済団体連合会社会広報本部長）

1980年3月、早稲田大学商学部卒業、同年4月、社団法人 経済団体連合会事務局入局。2004年4月より日本経済団体連合会総務本部・秘書グループ長(奥田碩元会長秘書)、2006年6月より産業第一本部長、2009年4月より社会広報本部長(現職)。経団連では、外国人受け入れ問題に係る諸課題、移民政策、教育政策などの提言とりまとめを担当。現在、政府の文化審議会臨時委員(日本語教育小委員会所属)。



出石 直（NHK解説主幹）

1982年慶應義塾大学法学部政治学科卒業後、NHKに記者として入局。報道局社会部記者、神戸放送局ニュースデスク、報道局国際部デスク、大阪放送局報道部担当部長(取材統括)、報道局国際部担当部長(取材統括)を経て、2007年から2009年までソウル支局長。解説委員を経て現職。共著に「神戸 心の復興」(NHK出版)、「ウォルフレンを読む」(窓社)など。この間、1994年から95年までプリンストン大学ウッドローウィルソン大学院フェロー、2012年イースト・ウェストセンター(ホノルル)フェロー。2005年放送文化基金賞。



鈴木 康友（浜松市長）

1957年静岡県浜松市生まれ。1980年慶應義塾大学法学部を卒業後、松下政経塾に入塾(第1期生)し1985年に同塾卒業。ステラプランニング代表取締役を経て、2000年6月に衆議院議員に初当選(2期)。この間、経済産業委員会理事等を歴任。2007年4月浜松市長に就任(現在2期目)し、2008年マニフェスト大賞受賞。現在、三遠南信地域(愛知県東三河地域、静岡県遠州地域、長野県南信州地域)連携ビジョン推進会議 (SEN A)会長。2011年12月から指定都市市長会副会長。

